

水俣病患者の生活資金

貸付け、こんご検討

質代表
弁答
知事
会代
議代
問
県議

三月定例県議会は六日代表質問を行ない、午前十時四十五分に本会議を開いて、社会党の常見康博（熊本市）自民党の戸上第一郎（鹿本郡）両議員が登壇した。常見議員は沢田知事の県政に対する基本姿勢、公害対策、中小企業対策を、また戸上議員も沢田県政の基本姿勢をただした。これに対し沢田知事は「七〇年代にふさわしい充実した県政の展開」を強調するとともに、福祉、教育問題に熱意を示し、水俣病患者に対する生活資金の貸し付け問題では「今後検討する」と前向き発言をして注目された。